

都市再生整備計画 布袋地区 [概要版]

平成 20 年 9 月 1 日

1. 次期計画の必要性

- ① 本地区は、江南市の南の拠点として位置づけられ、土地区画整理事業をはじめとした住環境改善および交通拠点形成のためのハード・ソフト事業をまちづくり交付金(平成 16~20 年度)を活用して実施した。
- ② これら事業により、市街地環境の向上が計画的に実現できているが、以下の課題が未解決である。
 - 1) 鉄道高架事業が完了していなく、交通結節点整備に伴う事業効果が十分に発現できない状況にある。
 - 2) 区画整理区域内の宅地利用は計画的に進んでいるが、区画整理区域外では、愛北病院跡地も含め低未利用地が多い状況にある。
- ③ また、平成 19 年度(平成 20 年 3 月)に策定された「江南市戦略計画」(計画期間：平成 20~29 年度)において、本地区は「にぎわいゾーン」として、魅力的で快適な市街地整備の重点地区および将来人口維持のための重点地区としての役割が期待されている。
- ④ したがって、平成 20 年度で完了するまちづくり交付金による事業効果を活用しながら、鉄道高架の完成を見据えた交通結節機能の充実、住環境のより一層の向上、区画整理区域外の土地活用促進および鉄道高架の効果を効率的に発現できるまちづくり活動や民間事業の促進が必要であり、まちづくり交付金による総合的な事業展開を実施したい。

2. 次期計画の展開内容

